

日仏友好協会の活動紹介

2015年6月7日
サン・シール日仏友好協会
書記担当役員 クレオラ美紀

日本の皆さん、こんにちは。

フランスのロワール河畔、サン・シール・シュール・ロワール市にある日仏友好協会の活動についてご紹介します。ここは、ユネスコ自然遺産に選定されているロワール河流域にあるトゥレーヌ地方。素晴らしい景観が残る地域です。歴史上重要な城が数多く残り、デカルト、バルザックのような多くの偉人、文豪、哲学者を輩出した土地なのです。

この素晴らしい自然・文化環境のなか、サン・シール・シュール・ロワール市に、1991年トゥレーヌ甲南学園が開校されました。国際化の時代の人材育成を目的として開校された中学・高校です。

地元の皆さんから「リセ甲南」と呼ばれて親しまれ、日本文化も紹介できると期待されていましたが、残念ながら、2013年3月、生徒数減少による運営難で閉校になりました。

リセ甲南の活動は22年間でしたが、ここで多感な青春時代を過ごした邦人生徒は600人近くになります。その間、いろいろな学校行事やホームステイを通して地元の人たちと友情を築いてきました。

この友情の絆をこれからも大きく育てていきたい。

そんな思いも込めて2013年3月、リセ甲南最後の卒業式の日、地元サン・シールと市民達、そしてリセ甲南元職員達が手を携え、この協会が設立されました。初年度の会員は、100人近くになりました。

リセ甲南閉校に伴い、その建物の一部は地元サン・シールに寄贈されていましたが、市の予算で改装された2教室が、今年4月、日仏友好協会の活動場所として提供されたのです。





サンシール日仏友好協会の活動は皆ボランティアです。
定期的な会は、約 7~15 人の出席があります。

- 生け花教室
- 日本料理教室
- 日本文化講座
- 和太鼓教室
- 切り絵教室

不定期なものでは、

- 折り紙教室
- 書道教室
- 日本映画の夕べ
- 講演会
- 地元イベントへの参加等があります。



2013 年 11 月には、サムライ・ジャポンがこの地に来て日本文化紹介のパフォーマンスをしてくださり、サン・シールの会場が満席となり大盛況でした。今年の 10 月からは日本語教室が始まる予定です。また美術学校の学生を招き、マンガ絵教室も計画中です。

素晴らしい活動場所が確保された現在、日本の伝統文化の紹介にも活動を広げたいのですが、課題は日本人会員が少ない、ということです。

日本で活躍するリセ甲南の卒業生達に参加を呼びかけ、サン・シールの地で、日仏文化交流の拠点としての活動をしていきたいと願っています。

在仏日本大使館のご協力を得て、日本の地方自治体、大学、個人の皆さんと連携し、交流イベントをサン・シールの地で実現することも現実になるでしょう。

サン・シールの全面的なバックアップがありますので、大小のホールの使用も可能です。

ここは、パリのドゴール空港からボルドー行きの新幹線 TGV で 1 時間半のところです。私達の日仏協会へのご来訪をお待ちしています。一緒に、「グローバル」な地方都市発信の日仏交流を実現しましょう。